

旅立ちの春

人と人を繋ぐ「私たち」の風景



念願の大型スクリーンをバックに！軽音岳部



吹奏楽部、ダンス部、書道部の発表、突如の藤原組エール



南岸低気圧がこれほどまでに脅威になるとは・・・3月1日そして6日と、松本は例年の何倍もの雪となりました。暦の上での「春」は極寒となっています。予餞会、卒業式、学力検査 と3月頭は生徒たちの旅立ちの姿そしてあらたな風景を迎える準備の様相です。予餞会では生徒たちの卒業生に向けた心温まるメッセージ、ステージ発表そして1,2年生からの合唱のプレゼントと盛りだくさんの2時間となりました。さながらミニ文化祭の形となり温かい予餞会でした。合唱曲は「旅立ちの日に」。指揮者の小林君の見事な指導で素晴らしい演奏になり体育館に美しいハーモニーが響きました。1日の卒業式で私からの式辞は「ベートーヴェン第9交響曲」を題材に、シラーの詩から、「引き裂かれたものを再び結びつけるのは神ではなく私たち人間である」こと、人とのつながりの大切さを心に持ち社会参画してほしい旨を綴りました。コロナの辛い時期を経て私たちが感じたことは、肌の温度を感じながら集う大切さや人との心のつながり、そして殺伐とした社会情勢の中、それを変えるのも私たち人間の手であることを痛感します。卒業生の皆さんには、自分たちの声が必ず世を変えていく一歩になることを心に羽ばたいて欲しいと強く祈念します。271名の卒業生の皆さん、**ご卒業おめでとう！**

卒業担任団

